

記入日：令和2年 2月 9日

令和2年度 特別養護老人ホーム かえでユニット運営計画書

施設長	マネージャー	作成者

～私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます～

中期経営計画目標 (2020.4-2023.3) : “KAIGO × テクノロジー”
 ～超高齢化社会・生産年齢人口急減社会にあっても、地域の皆様に高品質のサービスをお届けするために～
 法人事業計画目標 : “6つの方針”と“16のチャレンジ・アクションプラン”
 ～ワン&オンリーの先進的事業所として、高品質のKAIGOサービスをお届けします～

ユニット運営計画目標：行動に根拠を

行 動 計 画 表

(期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分	項目	ねらい	手順	具体的行動計画（実践をするために何をするか）					実施結果と今後の展望	
				誰が	誰に対して	何を	どのように	いつまでに		
個別ケアの基本について	1-①	ユニットケアや法人理念を理解するため社会人としてのあり方を勉強し規律性を向上させる	説明 実行	ユニットリーダー	生活相談員 ケアワーカー	規律性を向上させる	ユニット会議にて運営計画を説明する	通年		
	1-⑤			ユニットリーダー			ユニットリーダー	毎月のユニット会議にて経営理念の復唱をして確認する		毎月
				ケアワーカー			ケアワーカー	年間勉強会スケジュールに沿い、4回/年人事考課の規律性の項目について勉強会を開催する		4月 7月 10月 1月

			評価	ユニットリーダー	ユニットリーダー		人事考課を通じて評価を行う	12月		
ケアの質を保つために	4-④ 4-⑤	在宅生活の維持継続のため機能訓練、生活リハビリを勉強し取り入れる	説明	ユニットリーダー	生活相談員 ケアワーカー	機能訓練、生活リハビリを行う。	ユニット会議にて運営計画を説明する	通年		
			実行		ケアワーカー		リハビリ見学を実施し見学者がユニット会議でフィードバックを行う	9月までに		
			評価		ユニットリーダー		リハビリの概念を業務の中に組み込むシステムを作る			
			認知症ケアを行うために病型分類質問票 DDQ43 を使用し状態に合わせた介護を行う	説明	ユニットリーダー	生活相談員 ケアワーカー	認知症分類を行う。	ユニット会議にて運営計画を説明する	5月～	
			実行	ユニットリーダー ケアワーカー	ユニットリーダー ケアワーカー	病型分類質問票 DDQ43 を使用し認知症の分類を行う				
			評価	ユニットリーダー	ユニットリーダー	評価を行い、課題の抽出を行う		9月 1月		
入居者にそれぞれの暮らしを続けてもらうために	3-④ 3-⑦	見守り支援ロボット(眠りSCAN)と排せつ予測デバイス(DFree)を活用し、夜間の排せつ状況と眠りの様子を見える化し個人に合った排せつ介助を行う	説明	ユニットリーダー	生活相談員 ケアワーカー	個人に合った排せつ介助を行う。	ユニット会議にて運営計画を説明する			
			実行	ユニットリーダー ケアワーカー	ユニットリーダー ケアワーカー		眠りSCANとDFreeを活用し覚醒や排尿があった際に介入を行う	DFree 導入後		
			評価	ユニットリーダー	ユニットリーダー		評価を行い、課題の抽出を行う	9月 1月		
入居者が自分	2-⑨	持ち込みの荷物が整理しやすいようにハンガーラックを	説明	ユニットリーダー	ケアワーカー	居室の設えを行う。	ユニット会議にて運営計画を説明する			

の住まいと思えるために	購入し使用する	実行	ユニットリーダー ケアワーカー	ユニットリーダー ケアワーカー		スタッフと意見交換を行い、購入する	6月		
		評価	ユニットリーダー	ユニットリーダー		評価を行い、課題の抽出を行う	9月		
その他	(14)テクノロジー【介護看護記録システム(ブルーオーシャン)、見守り支援ロボット(眠りSCAN)、排泄予測デバイス(D-Free)等】を活用することで働き手の減少へ対応する	説明	ユニットリーダー	生活相談員 ケアワーカー	各機器の 専門家を 作る	ユニット会議にて運営計画を説明する			
		実行	ユニットリーダー ケアワーカー	ユニットリーダー ケアワーカー		各機器に担当者をつける			4月
						ブルーオーシャン: ユニットリーダー			
						見守りシステム: ケアワーカー			
						DFree: ケアワーカー			
			眠りSCAN: ケアワーカー						
					各担当者はユニット会議にて運用方法を摸索し業務改善を行う	6月 10月			
		評価	ユニットリーダー	ユニットリーダー		評価を行い、課題の抽出を行う	9月 1月		

※その他については、ユニット運営項目とは別に「“6つの方針”と“16のアクション・チャレンジプラン”」に関連した項目を記載すること(例. ICT・介護ロボット・機器等の利活用の取組、研修等への取組、情報発信・見える化への取組など)